

2006年3月期 決算説明会資料

2006年4月24日

4年連続増益、最高益を更新  
～営業利益360億円を達成～



株式会社日立ハイテクノロジーズ  
執行役社長 林 將章

【お問合せ先】

社長室 広報・IRグループ 部長代理 加藤 弘之  
TEL : 03-3504-5138 FAX : 03-3504-7123  
E-mail : [kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com](mailto:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com)

# <発表目次>

. 2006年3月期 決算概要	
ハイライト	4
偏差説明	5
経営成績	6
損益計算書	8
貸借対照表	9
. 2007年3月期 業績予想	
業績予想	11
基本方針	13
地域別売上高	14
研究開発/設備・事業投資計画	15
主要事業別戦略	
(半導体製造装置)	16
(液晶関連装置)	20
(円板・ヘッド関連製造装置)	24
(ライフサイエンス)	25
(チップマウンタ)	26
(商事品)	27
. データ集	
四半期業績の推移	29
主要製品群別売上高の動向	30

# . 2006年3月期 決算概要

---

# 2006年3月期決算ハイライト

## 2006年3月期決算

(金額: 億円)

	金額	前年度比	前回予想比
売上高	8,883	5%	+ 5%
営業利益	360	+ 20%	+ 23%
経常利益	351	+ 36%	+ 29%
当期利益	192	+ 28%	+ 18%

全項目で予想値を上回る

営業利益・経常利益・当期利益は4年連続増益、過去最高値を更新

借入金を全額返済、連結無借金を達成

日立ハイテク創立5周年を記念して、記念配当を実施

一株当たり年間配当金を25円に(記念配当5円)

(注)前回予想は、2006年1月の第3四半期決算発表時の見通しです。

## 【2006年3月期決算の偏差説明】

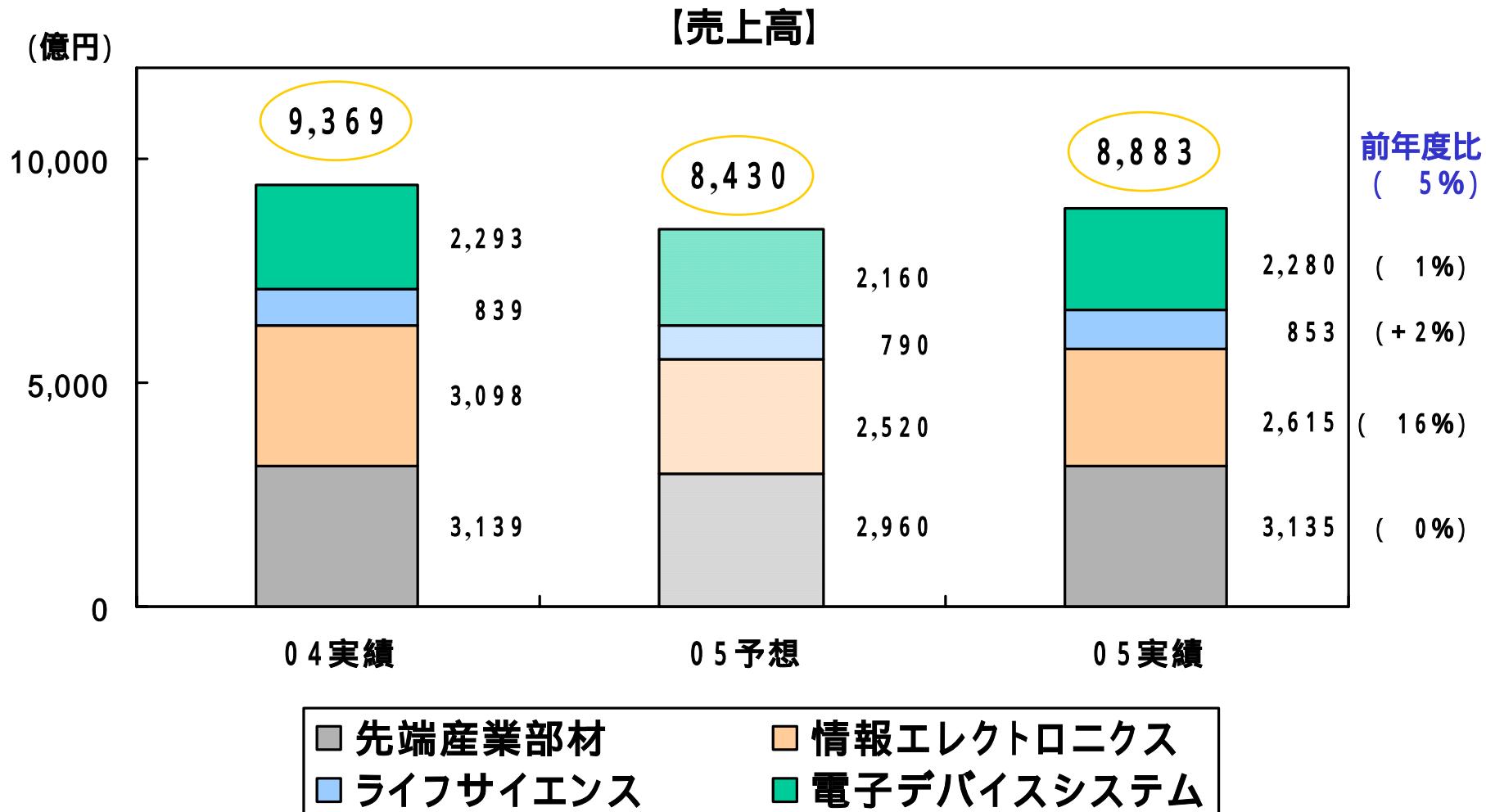
### 対前年度比較

1. 売上高	(9,369億円)	8,883億円	486億円)
· 家電製品		257億円	
· 携帯電話等向け半導体デバイス		221億円	
· 液晶プロジェクタ等の光学部品		121億円	
· 医用分析装置		+112億円	
2. 営業利益	(300億円)	360億円	+60億円)
· 液晶製造装置		+8億円	
· HD製造装置		+20億円	
· 医用分析装置		+25億円	

\* 営業利益増加額には、円安効果6億円、コスト低減34億円を含む

## 2006年3月期決算経営成績

### 米国向け家電製品の減少等により前年比5%減

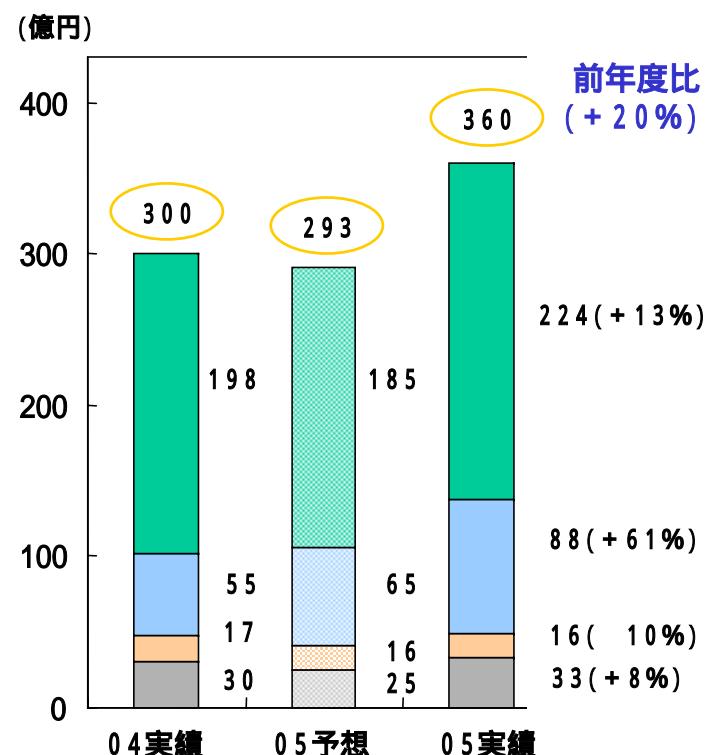


(注) 05 予想は、2006年1月の第3四半期決算発表時の見通しです。

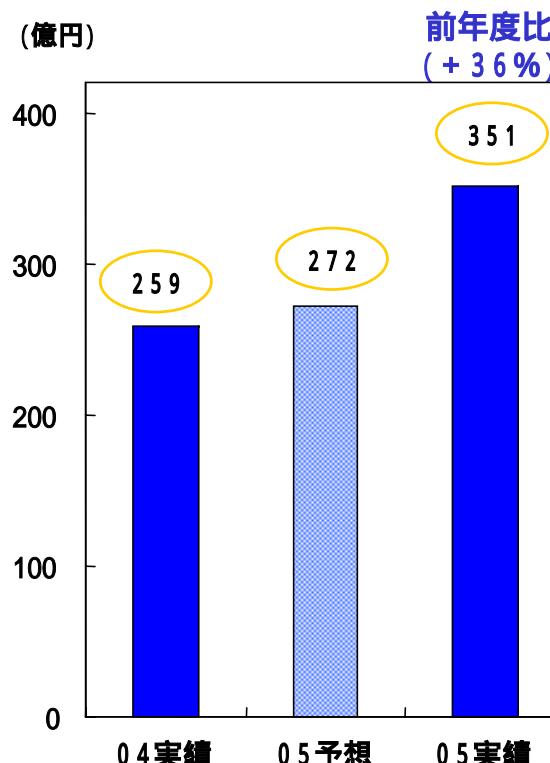
# 2006年3月期決算経営成績

## 過去最高益を更新

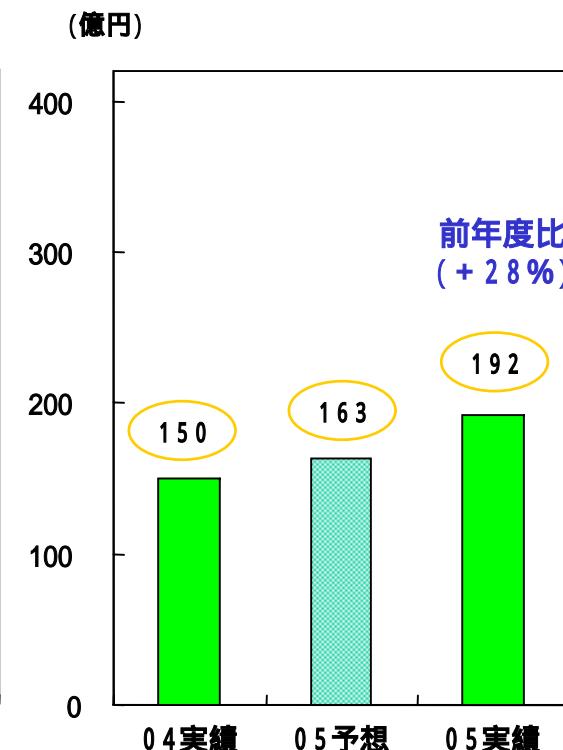
【営業利益】



【経常利益】



【当期利益】



- |           |             |
|-----------|-------------|
| ■先端産業部材   | ■情報エレクトロニクス |
| ■ライフサイエンス | ■電子デバイスシステム |

(注) 05 予想は、2006年1月の第3四半期決算発表時の見通しです。

# 損益計算書

(億円)

科 目	05年度 実績	04年度 実績	前年度比 増減率 (%)	前年度比 増 減 額	主 な 増 減 要 因
売 上 高	8,883	9,369	5.2	486	
売 上 原 価	7,573	8,102	6.5	529	
売 上 総 利 益	1,310	1,266	3.5	44	
販 管 費	950	966	1.7	16	貸倒引当金繰入損 14
営 業 利 益	360	300	20.1	60	
営 業 外 収 益	34	26	30.2	8	
営 業 外 費 用	43	67	36.2	24	たな卸資産評価損 21
経 常 利 益	351	259	35.8	92	
特 別 損 益	54	14	-	40	のれん代償却 21、事業整理損失 14
税 前 純 利 益	297	244	21.7	53	
法 人 税 等	105	94	11.7	11	
当 期 純 利 益	192	150	28.3	42	

# 貸借対照表

## 借入金を完済し、無借金に

(億円)

資産	06/3	前年度末 増減額	増減要因	負債・資本	06/3	前年度末 増減額	増減要因
<b>流動資産</b>	<b>3,610</b>	<b>223</b>	日立ブーリング	<b>流動負債</b>	<b>2,315</b>	<b>58</b>	
現金預金	312	149		買掛金等	1,820	173	
売掛金等	2,382	252		短期借入金		99	
有価証券	1	1		未払費用	272	8	
棚卸資産	591	22		その他	222	24	
繰延税金	163	16		<b>固定負債</b>	<b>284</b>	<b>13</b>	
前渡金	21	4		退職給付	270	12	
関係会社預け金	125	95		その他	14	0	
その他	47	11		<b>負債合計</b>	<b>2,598</b>	<b>45</b>	
貸倒引当	32	6					
<b>固定資産</b>	<b>969</b>	<b>30</b>	のれん代 39 栄研化学株式 30 前払年金費用 37 有価証券評価差額 35	<b>少数株主持分</b>	<b>47</b>	<b>8</b>	
有形固定	546	20		<b>資本金</b>	<b>79</b>		
無形固定	43	52		<b>利益剰余金</b>	<b>1,789</b>	<b>163</b>	
投資他	380	103		<b>その他</b>	<b>65</b>	<b>36</b>	有価証券評価益 22
				<b>資本合計</b>	<b>1,934</b>	<b>200</b>	
<b>資産合計</b>	<b>4,578</b>	<b>253</b>		<b>負債・資本合計</b>	<b>4,578</b>	<b>253</b>	

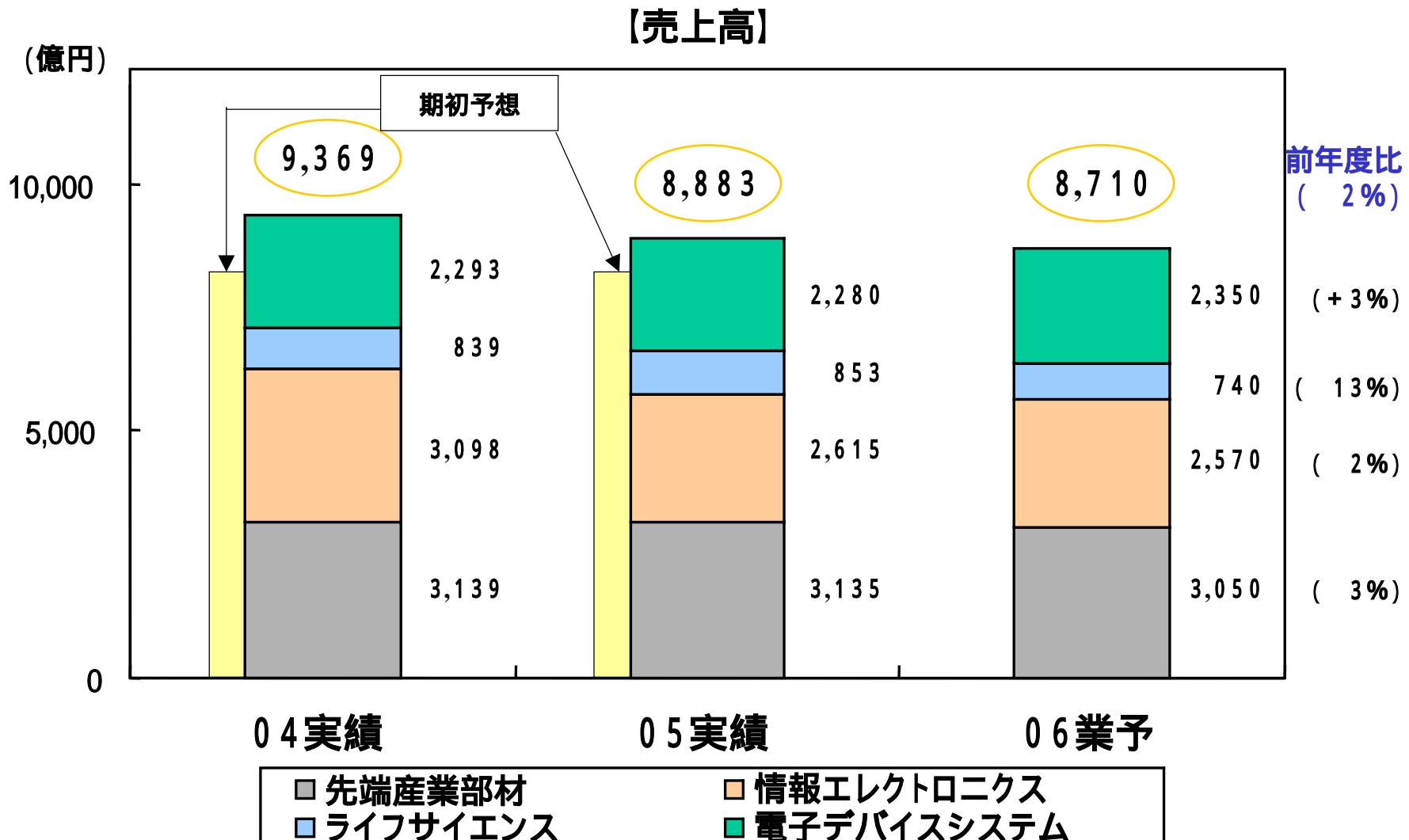
# . 2007年3月期 業績予想

---

. 2007年3月期 業績予想

## 2007年3月期業績予想

### 06年度は電子デバイスシステムを除き前年比減収

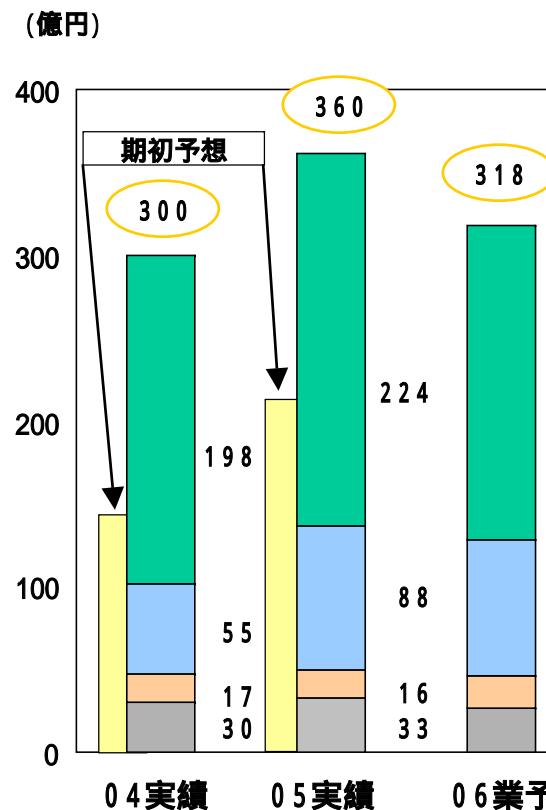


. 2007年3月期 業績予想

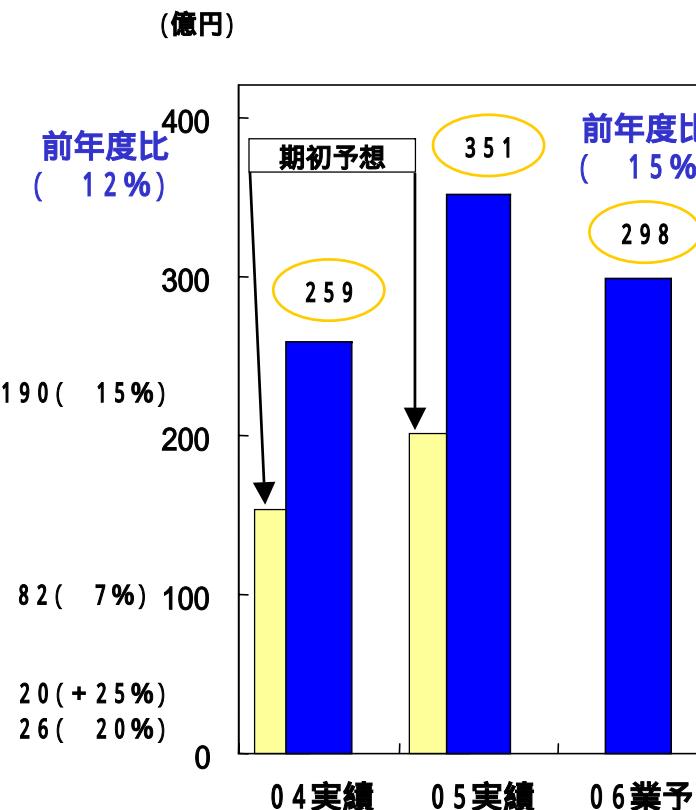
# 2007年3月期業績予想

## 電子デバイスを中心として前年比減益

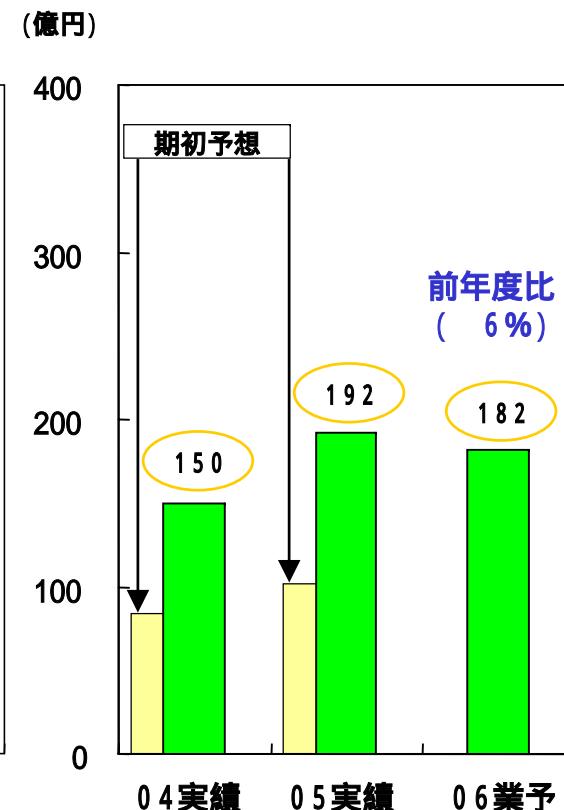
【営業利益】



【経常利益】



【当期利益】



(注)期初予想は、それぞれ03年度・04年度決算発表時点の数値です。

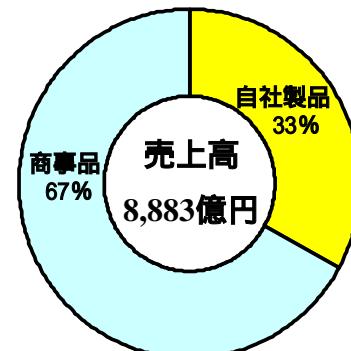
## 基本方針

### 市場の伸びを上回る高成長企業の実現に向けて

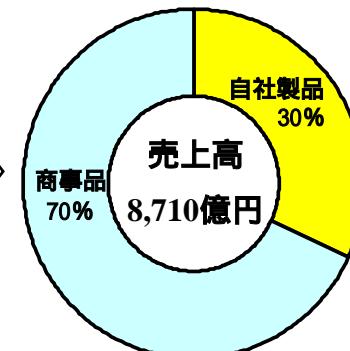
#### 基本方針

#### 構成比率

< 05 実績 >



< 06 業予 >

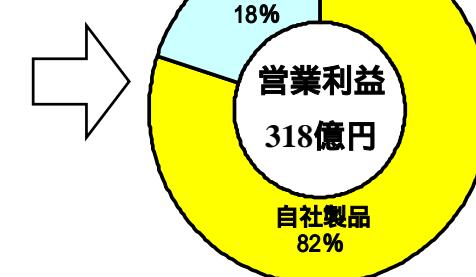
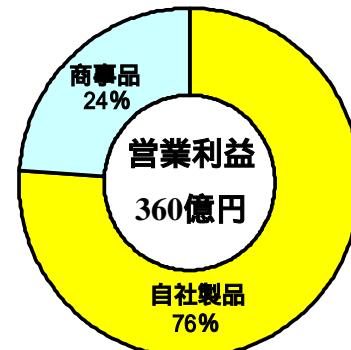


#### 自社製品の高収益化

- ・ 新製品の早期導入によるシェアの拡大
- ・ 原価低減の推進

#### 商事品の事業拡大

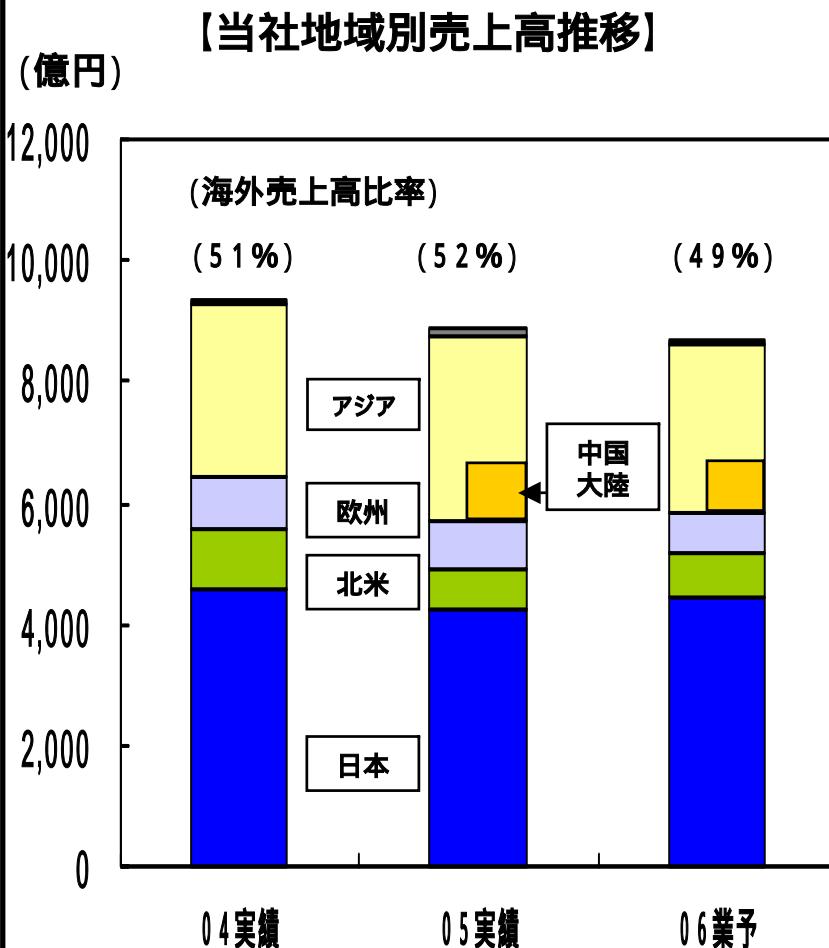
- ・ 高付加価値ビジネスの推進
- ・ 新市場の開拓によるグローバル展開の加速



< 営業利益率の推移 >

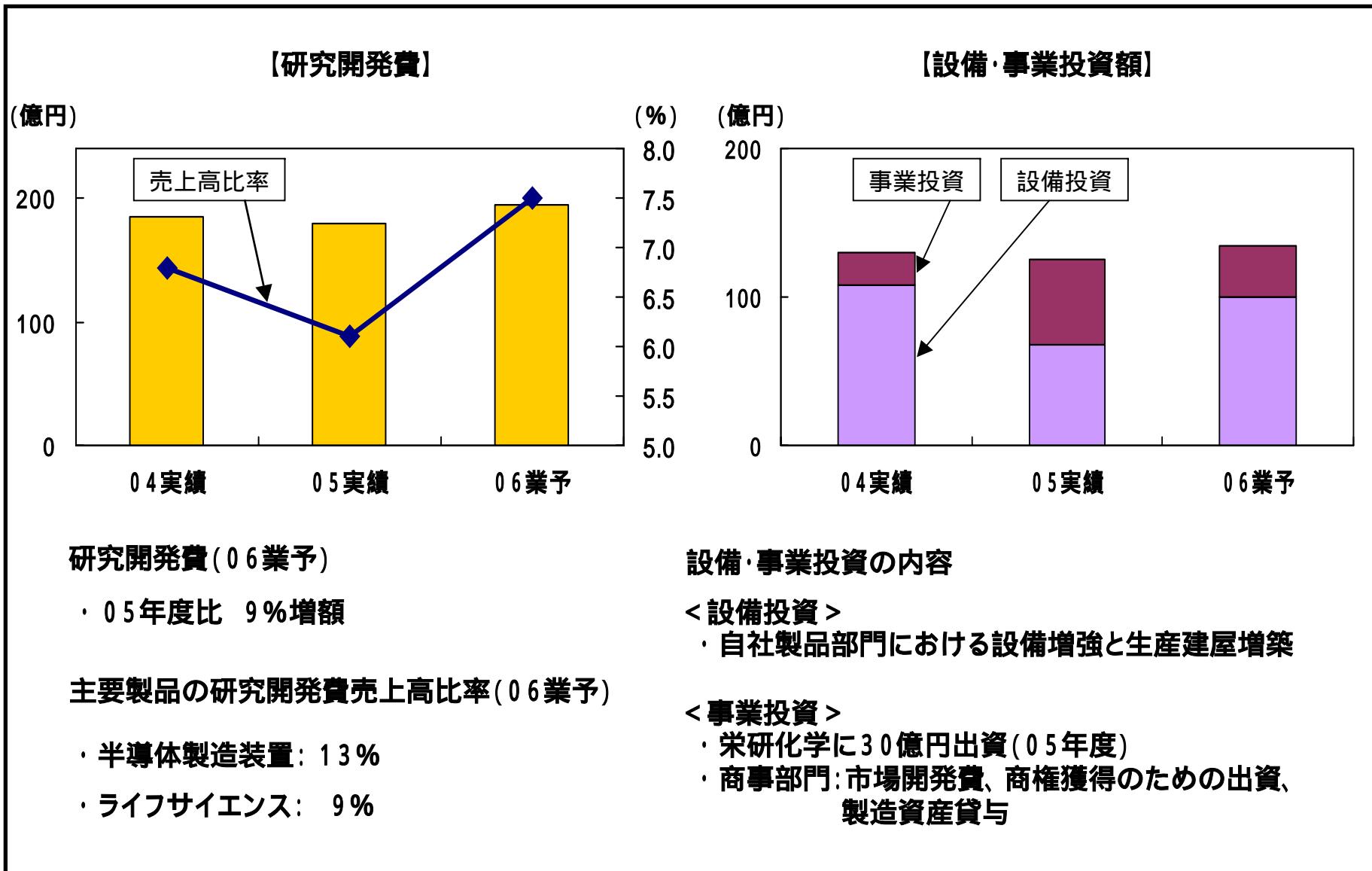
自社製品	9 %	10 %
商事品	1 %	1 %

## 地域別売上高



1. 新興地域の開拓(インド、ベトナム、ロシア)
  - ・インド、ベトナム、ロシアの拠点設立による新ビジネスの新規開拓
2. 重点顧客密着型ビジネスの推進
  - ・海外重点顧客との共同開発推進による製品開発
3. 商事品Out-to-Outビジネス(海外仕入/海外販売ビジネス)の拡大
  - ・先端産業部材を中心とした最適地調達力の発揮
4. 海外販売会社とサービス会社の統合
  - ・顧客満足度の向上

## 研究開発/設備・事業投資計画

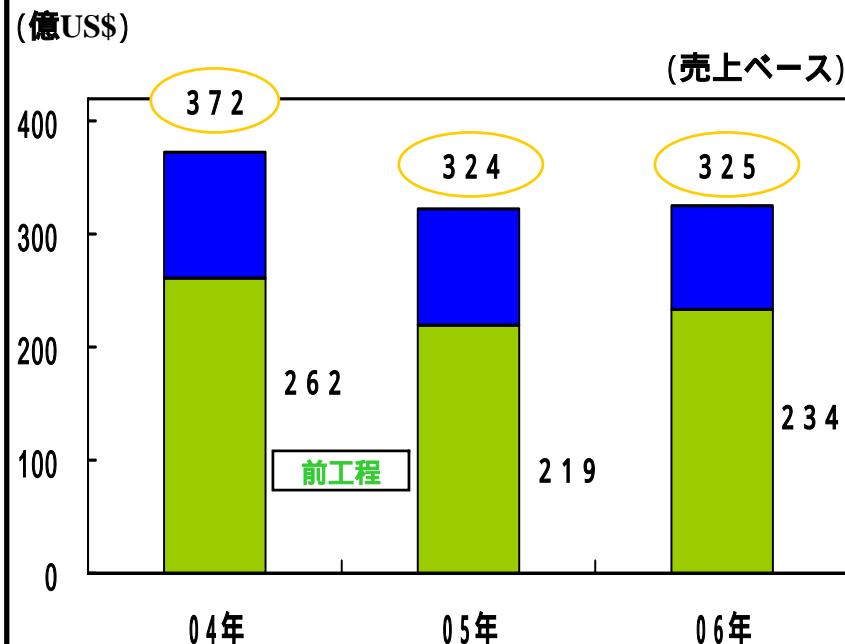


## 半導体製造装置(市場予測)

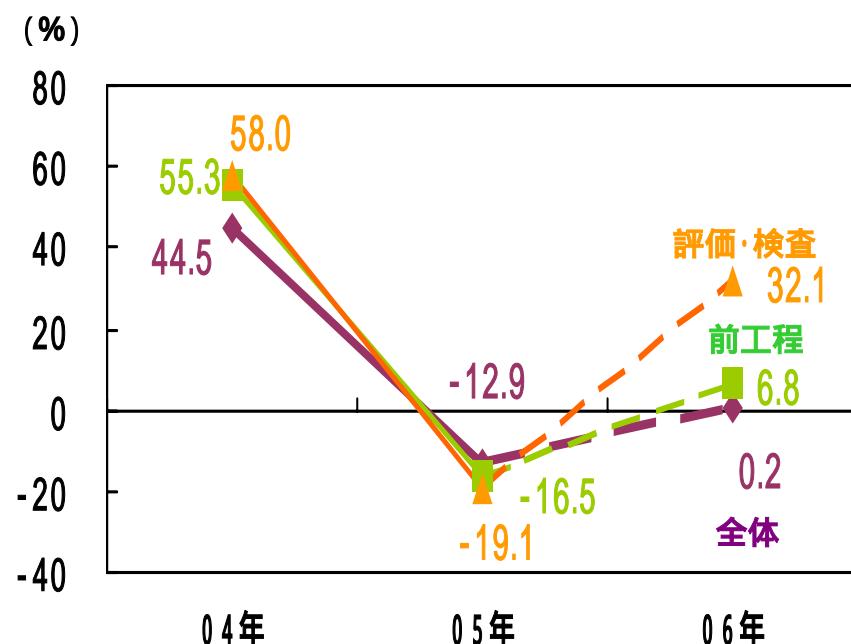
### 06年は評価・検査装置の市場が拡大

【半導体製造装置市場】(W/W)

(出所) SEMIのデータ(05/5)を基に当社にて作成

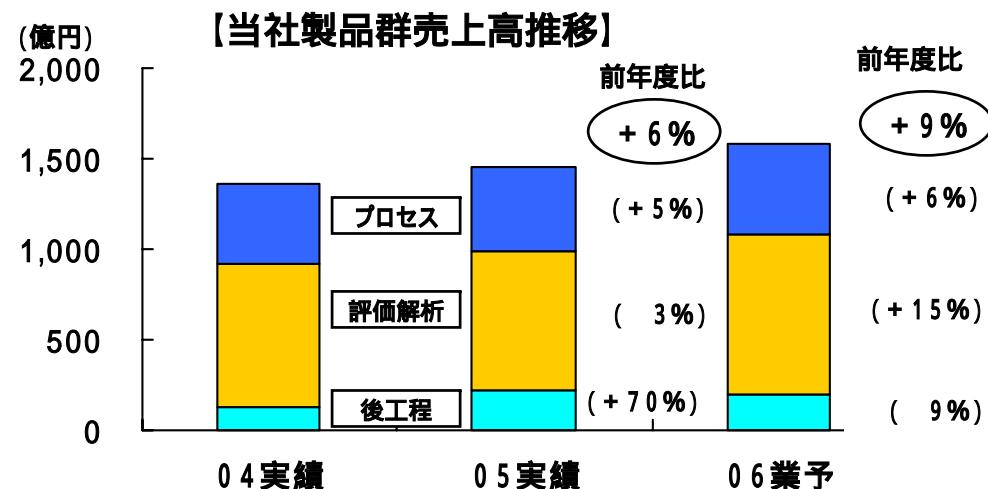
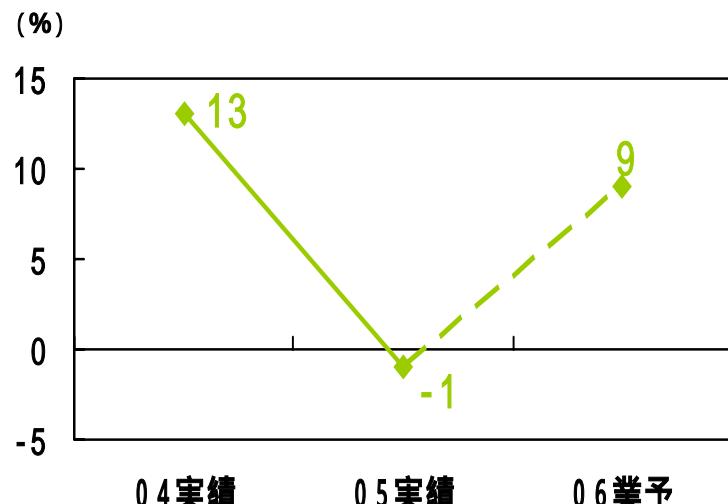
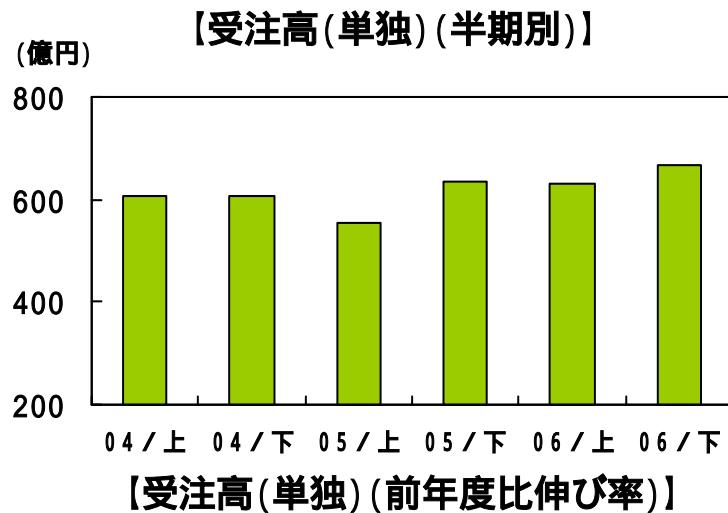


【半導体製造装置市場(前年比伸び率)】



# 半導体製造装置(受注高の推移と製品別売上)

エッティング装置、測長SEM等の回復で、06年度は売上増



### 1. プロセス

エッティング装置は、05年度国内外投資の抑制で減少  
06年度は、米国大手メーカー向けが急回復し、売上増  
ASML露光装置は、05、06年度とも大幅売上増

### 2. 評価解析

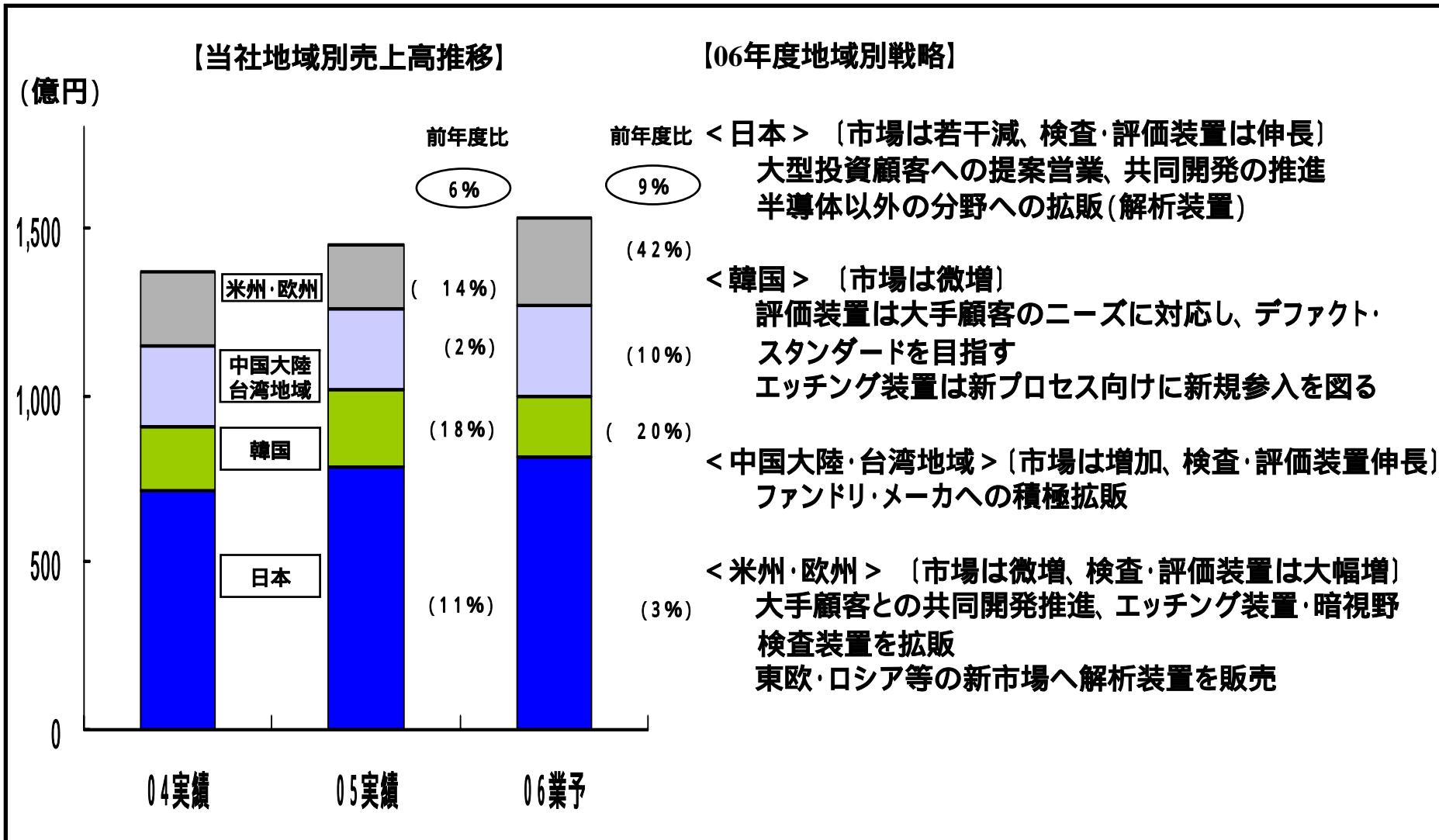
測長SEMは、05年度市場全体の抑制で大幅に落ち込んだが、  
シェアは維持。06年度は新技術、新機種投入等で売上増  
検査装置は、製品の立ち上げにより、05、06年度とも伸びが加速  
解析装置は、05、06年度ともすべての装置で着実に売上増

### 3. 後工程

ダイポンダ中心に05年度は、韓国・台湾地域向けが好調、  
W/Wトップシェアを獲得。06年度も好調継続で高水準の売上確保

## 半導体製造装置(地域別売上)

顧客との良好なパートナーシップ構築により、W/W売上増を目指す



## 半導体製造装置(事業戦略)

### 新技術・新製品投入により、シェア拡大を目指す

エッチング装置は、「新工程・新材料対応」により、最先端顧客への拡販を図る

測長SEMは、次世代機の投入とシステムの差別化によりトップシェアを堅持

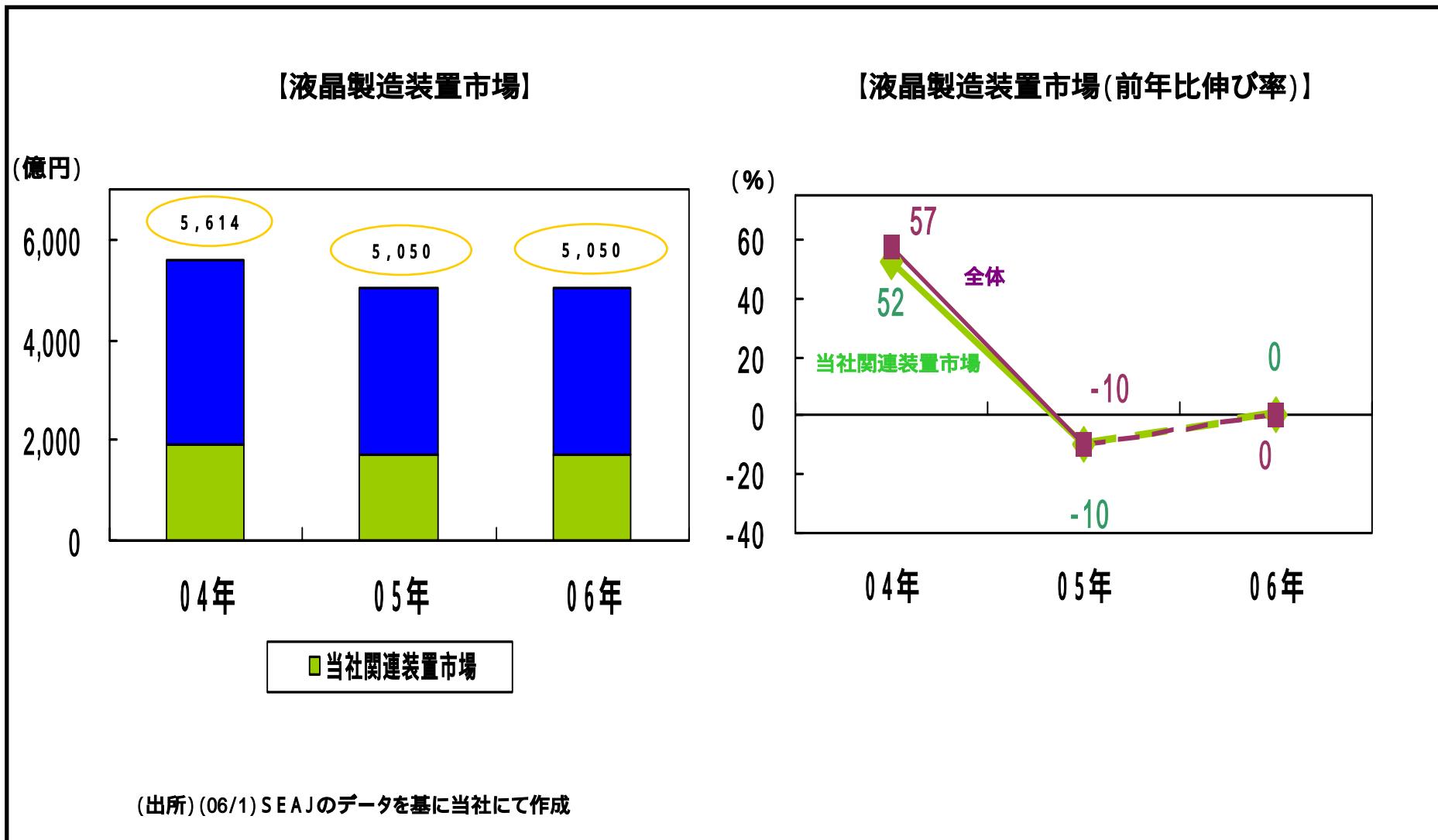
光学式検査装置は、暗視野式検査装置を中心として着実に市場の認知度を高める

レビューSEMは、65～45nm製品を投入し、シェア拡大を図る

F E - SEMは、半導体および先端材料、自動車業界等のナノテク市場への深耕でトップシェアを堅持

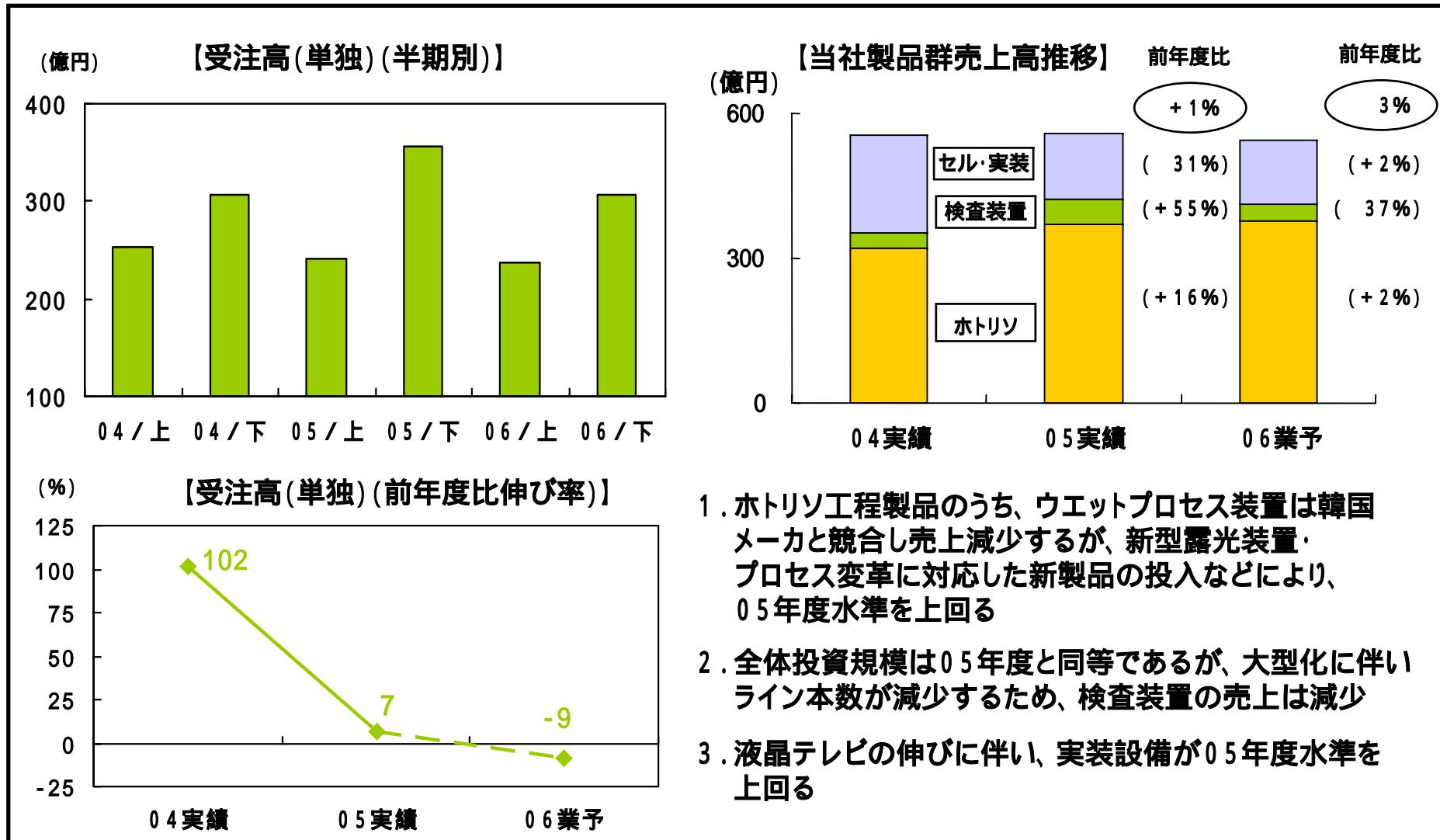
## 液晶関連装置(市場予測)

05年はマイナス成長なるも、06年は横バイ



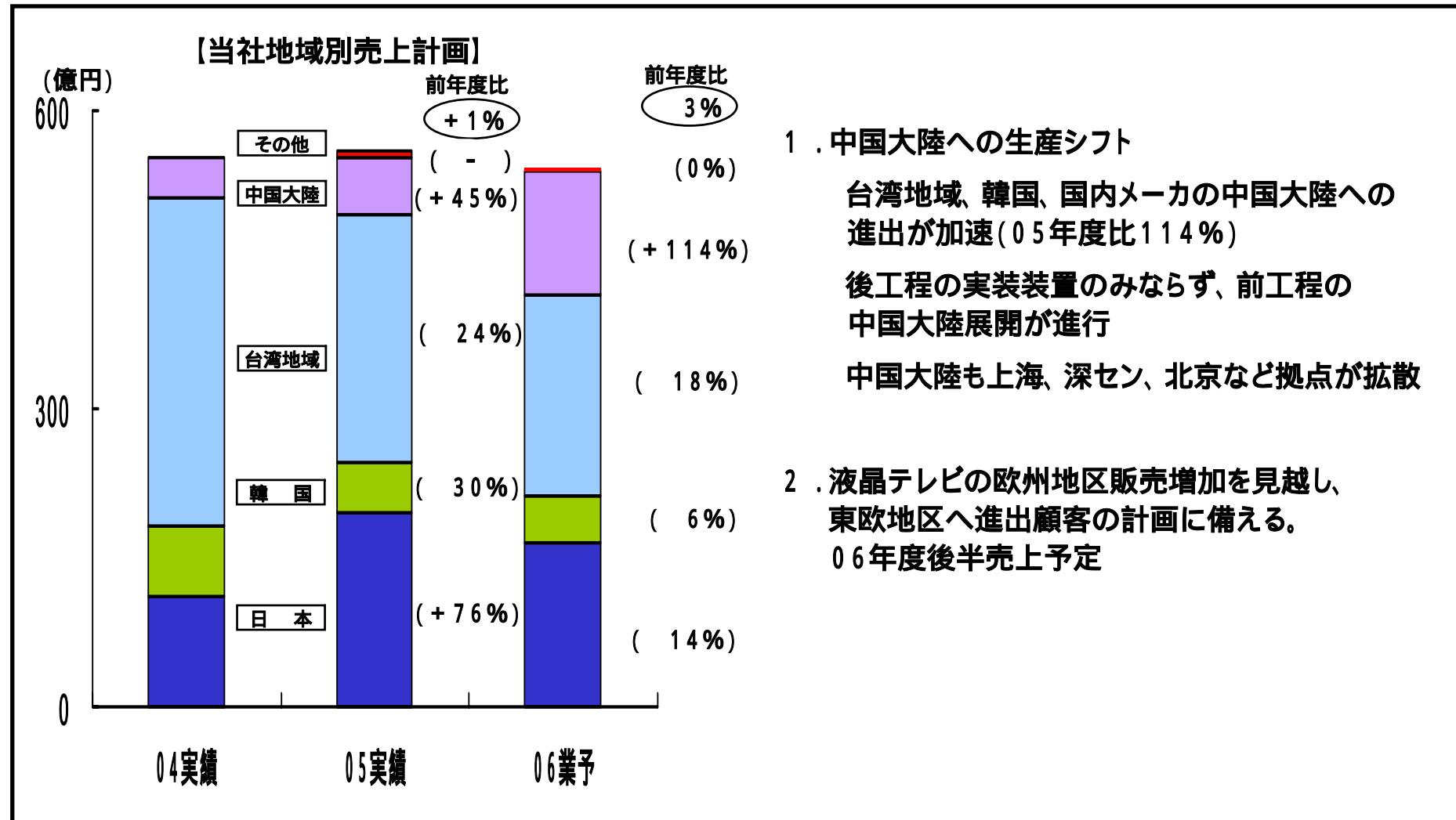
# 液晶関連装置(受注高の推移と製品別売上)

## 06年度売上は前年度とほぼ同一水準で推移



# 液晶関連装置(地域別売上)

## 日・台・韓から中國大陸、更には東欧などへの生産シフトが加速



## 液晶関連装置(事業戦略)

### 顧客ニーズに応える事業の展開

#### 1. 液晶業界の動向を睨んだ戦略的受注の確保

トップメーカーとのパートナーシップの拡大

顧客生産拠点のグローバル化への対応

#### 2. プロセス変革に対応した新製品の投入と拡販

インクジェット応用製品、マスクレス露光装置

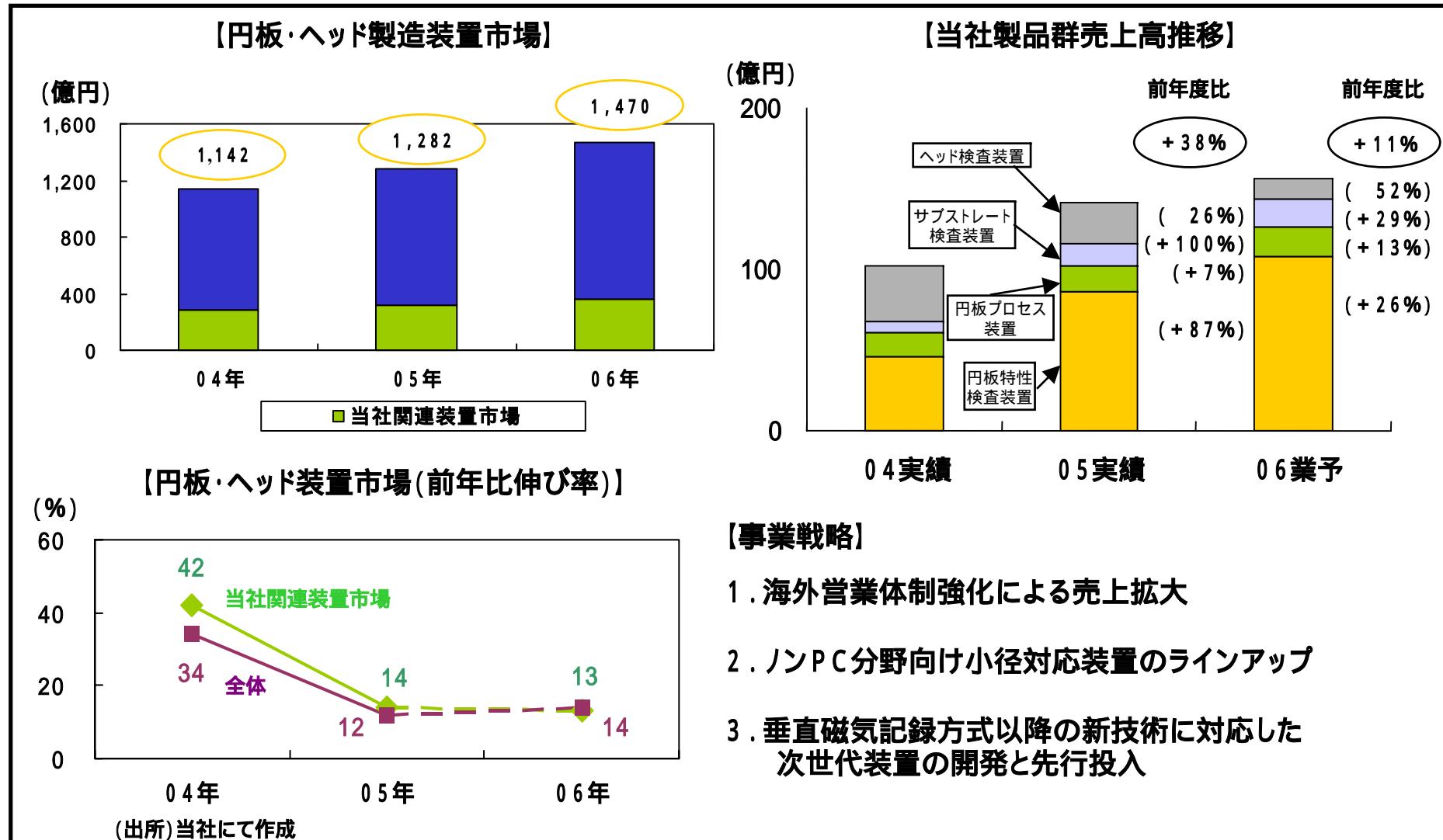
ブラックマトリックス対応の露光装置

大型テレビ対応の実装装置

#### 3. 海外生産なども視野に入れた原価低減の推進

# 円板・ヘッド関連製造装置(市場予測と事業戦略)

## HDDの増産基調が継続し、円板・ヘッド事業が拡大



## ライフサイエンス(製品別売上と事業戦略)

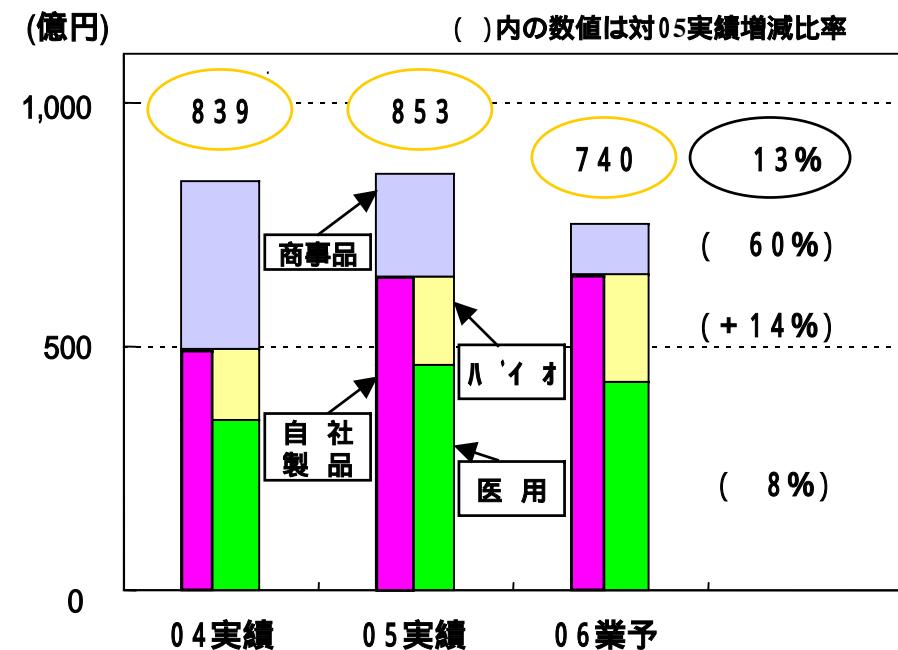
### 創薬・遺伝子診断市場への対応強化

#### 【06年度市場予測】

1. 沢用分析市場が飽和・伸び悩み、創薬・診断分野への移行が活発化
2. 遺伝子診断・POCT(\*)市場は急成長
3. アジア市場(特に中国大陸向け)が伸長

\* POCT: その場検査(Point of Care Test)

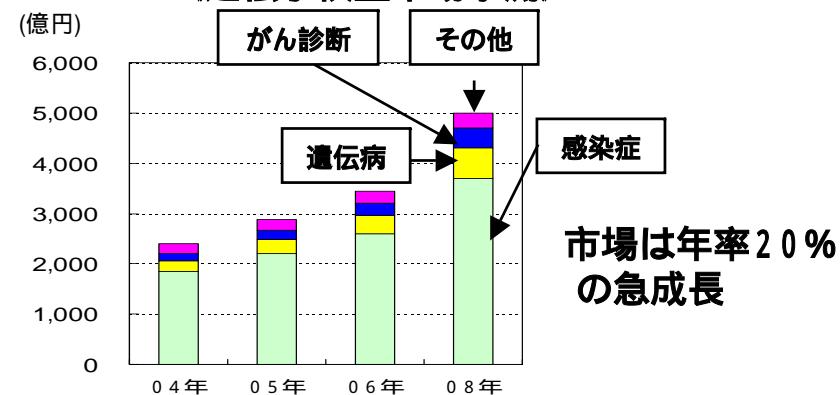
#### 【売上高推移】



#### 【事業戦略】

1. タンパク質解析用LC / MSの機能向上と拡販
2. 遺伝子解析装置の応用分野拡大
  - ・ A B社とのパートナーシップ強化
3. 栄研化学との業務提携
  - ・ 装置と試薬のシステム販売
  - ・ 遺伝子検査等新分野への参入

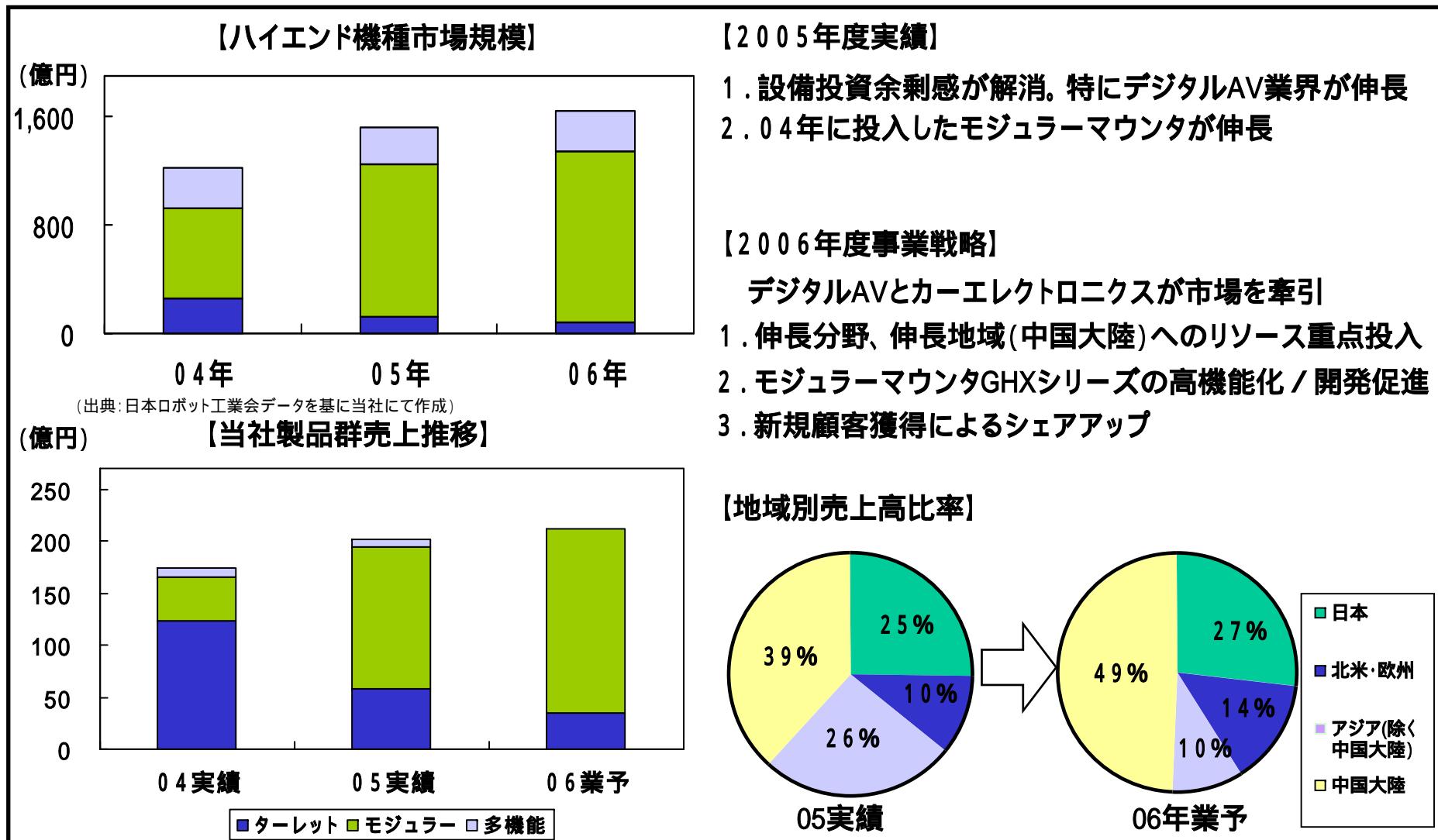
#### 【遺伝子検査市場予測】



4. 新形生化学・免疫分析システムシリーズの継続投入による更なるシェアアップ
  - ・ ロシュ社とのパートナーシップ強化

# チップマウンタ(市場規模と事業戦略)

## モジュラーマウンタの拡販

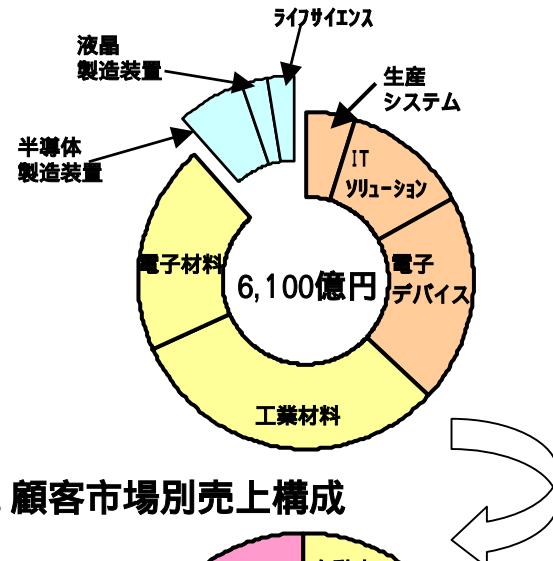


# 商 品

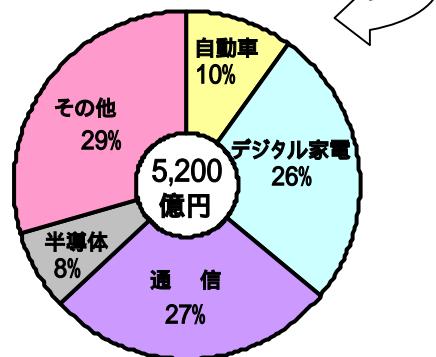
## グローバル成長市場への重点拡販

### 【06年度部門別売上構成】

#### 1. 商品別売上構成



#### 2. 顧客市場別売上構成



### 【商商品事業戦略】

#### 1. 当社商商品重点4市場

自動車、デジタル家電、通信、半導体

#### 2. 各セグメント間の連携により、重点市場における原材料から設備までのトータル・ソリューションの提供

#### 3. 最先端商品・新ビジネスモデルの開発推進

##### <自動車分野>

- ・調達ソリューション・ビジネスのW/W展開
- ・電池等部品組立装置

##### <デジタル家電分野>

- ・製造設備貸与(投資)による大手家電メーカー向け  
大型フラットパネル・TV用部材拡販
- ・高精細、ホームネットワーク市場向け画像処理チップ

##### <通信分野>

- ・米国大手キャリア向け携帯電話端末
- ・大手携帯電話メーカー向け半導体(LCDドライバ他)、  
リチウムイオン電池
- ・光通信部材、ワイヤレス・チップ

##### <半導体分野>

- ・シリコン ウエハ、BGA基板

## . データ集

---

. データ集

## 四半期業績の推移

(億円)

	04年1Q	04年2Q	04年3Q	04年4Q	05年1Q	05年2Q	05年3Q	05年4Q
売 上 高	2,394	2,512	2,155	2,308	1,975	2,274	2,162	2,472
営 業 利 益	80	78	79	63	47	110	68	135
経 常 利 益	79	55	81	44	50	87	73	141
当 期 利 益	47	26	51	26	20	56	49	67

## <セグメント別売上高>

(億円)

	04年1Q	04年2Q	04年3Q	04年4Q	05年1Q	05年2Q	05年3Q	05年4Q
電子デバイスシステム	510	617	535	631	523	607	464	686
ライフサイエンス	196	222	170	251	196	212	197	249
情報エレクトロニクス	881	855	675	687	542	695	685	693
先端産業部材	807	818	775	739	714	760	816	845

# 主要製品群別売上高の動向

(億円)

	04年度実績	05年度実績	04年度比	06年度予想	05年度比
<b>【電子デバイスシステム】</b>	<b>2,293</b>	<b>2,280</b>	<b>1%</b>	<b>2,350</b>	<b>+3%</b>
プロセス装置	442	465	+5%	494	+6%
評価・解析装置	789	769	3%	884	+15%
液晶関連装置	557	558	+0%	543	3%
その他	505	488	3%	429	12%
<b>【ライフサイエンス】</b>	<b>839</b>	<b>853</b>	<b>+2%</b>	<b>740</b>	<b>13%</b>
バイオ関連機器	194	212	+9%	241	+14%
医用関連製品	349	461	+32%	426	8%
その他	296	180	39%	73	59%
<b>【情報エレクトロニクス】</b>	<b>3,098</b>	<b>2,615</b>	<b>16%</b>	<b>2,570</b>	<b>2%</b>
情報システム	535	564	+5%	547	3%
組立装置	303	324	+7%	346	+7%
半導体	904	683	24%	611	11%
メディアデバイス・情報家電	748	588	21%	719	+22%
その他	608	456	25%	347	24%
<b>【先端産業部材】</b>	<b>3,139</b>	<b>3,135</b>	<b>0%</b>	<b>3,050</b>	<b>3%</b>
工業材料	839	807	4%	768	5%
電子デバイス材料	366	422	+15%	473	+12%
光関連部材	492	371	25%	346	7%
その他	1,442	1,535	+6%	1,463	5%

## <資料取り扱い上の注意>

本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記のない限りすべて連結です。

数値情報は、億円未満を四捨五入しています。

増減率は、基本的に円単位で計算しています。

本プレゼンテーションで述べられている将来の当社業績に関する予想は、現時点で知りうる情報をもとに策定されたものです。当社の参画する産業界はテクノロジーの変化が速く、競争の激しい産業です。また、世界経済、半導体市況、為替相場など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績が本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおきください。但し、大きな変動がある場合は、証券取引所の適時開示規則及び当社の自発的判断等に基づき、その都度公表していく所存です。

以 上